

資料室便り

交通の専門図書館 交通経済研究所資料室

■新着書棚から（新しく受け入れた資料の紹介）



『航空運航指令室——航空会社の運航を支えるオペレーション・コントロール・センター』

西尾秀樹著

成山堂書店発行

2025年7月／1,980円（税込）

所蔵箇所：信濃町

普段利用する飛行機の安全は、どのように守られているのだろうか。本書では、日本航空のオペレーション部門を長年指揮してきた著者により、その心臓部である「オペレーション・コントロール・センター（OCC）」の実態が実例を交えて紹介されている。

オペレーションの鍵となるのは、航空運航管理を「点・線・面」で捉えて体系化する視点。すなわち、空港単位の地上業務（点）、個別のフライト（線）、全社的な機材・ダイヤ運用（面）という多層構造を一元管理するものであり、これにより複雑なオペレーションの全体像が立体的に浮かび上がる。こうした枠組みは、航空業界のみならず、鉄道やバス等の他の交通機関における計画運休や防災行動計画の実務にも応用されている。

また、本書では悪天候や大規模自然災害といった実際のイレギュラー事例、およびその対応や意思決定プロセスについても、専門性を保ちつつ分かりやすく解説している。著者の豊富な現場経験に基づく具体的な判断プロセスや各部署連携の実例が示されており、理論と実務を結びつけた運航管理の実像が描かれている。（原）

■書庫のなかから（所蔵資料の紹介）

『マナーポスター 100
——世相 10 年』

帝都高速度交通営団企画・発行

1983年7月

所蔵箇所：上野（一般公開中）

「整列乗車」「優先席」「傘をお忘れなく」。鉄道を利用すると1度は聞く言葉である。本書は、こうした乗客の駅や車内での立ち居振る舞いについて帝都高速度交通営団（現・東京メトロ）が作成してきた「マナーポスター」の歴史を振り返ったものである。1974年9月作成の第1号から1983年3月作成の第100号までを収録し、ポスターとともに国内外の出来事、地下鉄の歴史や様々なエピソードが書き添えられている。

100枚のポスターの中には、車内で新聞を広げることや改札で定期券をはっきり見せることなど、今ではあまり見られない光景も多くある。鉄道にまつわる環境と乗客の生活の変化が、いかに密接であるかが読み取れるだろう。一方で、本書には大正時代、当時の国鉄を管轄した鉄道省が募集した標語が紹介されている。その1つは「お互に座席を譲り合いませう」である。100年の時を越えて、人が集まり時を過ごす場としての鉄道駅・車内の「空気」はつながっているとも言える。

なお、マナーポスター事業はメトロ文化財団に受け継がれ、現在に至っている。（田邊）

資料室からのご案内

蔵書オンライン検索、新着図書・雑誌の情報、月別新着図書目録、所蔵社史・年史のリストなどは、資料室 HP (<https://www.itej.or.jp/about>) をご覧ください。

担当：古森崇史、原祥太、土方規義、田邊由佳

